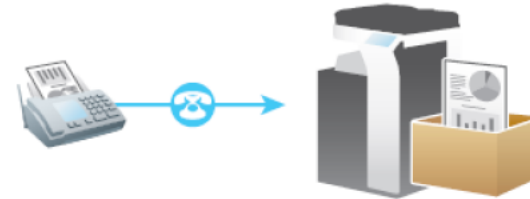


ファクス強制メモリー受信 (必要なものだけを選択して印刷)

受信したファクスを強制的にボックスに保存する(強制メモリー受信)

強制メモリー受信について

強制メモリー受信は、受信したファクスを本機の強制メモリー受信ボックスに保存する機能です。受信したファクスの内容を確認して、必要なものだけを印刷することで、印刷コストを削減できます。ファクスの盗難や紛失を防げるためセキュリティを強化でき、重要なファクスも安心して扱えます。また、必要なファクスを手動で転送することもできます。受信したファクスの内容に応じて毎回異なる宛先に転送できるので便利です。



参考

- 強制メモリー受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。
転送ファクス、PC-FAX 受信、TSI 受信振分け

お使いになるために必要な作業(管理者向け)

強制メモリー受信機能を有効にします。あわせて、強制メモリー受信ボックスへのアクセスを制限するためのパスワードを設定します。

設定のしかたについては、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」を参照してください。

受信したファクスを印刷する

強制メモリー受信ボックスに保存されたファクスを印刷したいときは、強制メモリー受信ボックスを参照します。

印刷のしかたについては、「ユーザーズガイド [ボックス機能] / [メモリーに受信したファクスを印刷する (強制メモリー受信)]」を参照してください。

受信したファクスを転送する

強制メモリー受信ボックスに保存されたファクスを転送したいときは、強制メモリー受信ボックスを参照します。

送信のしかたについては、「ユーザーズガイド [ボックス機能] / [メモリーに受信したファクスを印刷する (強制メモリー受信)]」を参照してください。

受信したファクスを指定したボックスに保存する (PC-FAX 受信)

PC-FAX 受信について

PC-FAX 受信は、受信したファクスを強制メモリー受信ボックスまたは F コード (SUB アドレス) で指定されたボックスに、自動的に保存する機能です。

保存されたファクスは、ボックスからコンピューターに取り込まれます。

ダイヤルインサービスをご利用の場合は、ダイヤルインの PC-FAX 番号で受信したファクスだけ PC-FAX 受信するように設定できます。



参考

- PC-FAX 受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。
強制メモリー受信、転送ファクス、TSI 受信振分け
- 親展のファクスおよび中継依頼のファクスは、親展ボックスまたは中継ボックスに保存されます。
- 受信出力先を指定ボックスに設定している場合、F コードでボックスが指定されていないファクスは強制メモリー受信ボックスに保存されます。
- 受信出力先を強制メモリー受信ボックスに設定している場合、F コードでボックスが指定されたファクスは通信エラーになります。
- ダイヤルイン機能を使って、PC-FAX 番号で受信したファクスのみ PC-FAX 受信する設定をしている場合、ファクス番号で受信したファクスは印刷されます。

お使いになるために必要な作業 (管理者向け)

PC-FAX 受信機能を有効にします。あわせて、受信したファクスを保存するボックスを指定します。

設定のしかたについては、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。



参考

- 受信出力先を指定ボックスに設定してパスワードチェックを行う場合、ボックスのパスワードではなく通信パスワードを設定します。PC-FAX 受信で使用するボックスが複数ある場合でも、通信パスワードは共通で使用されます。

受信したファクスを印刷する

PC-FAX 受信でボックスに保存されたファクスを印刷したいときは、保存先のボックスを参照します。

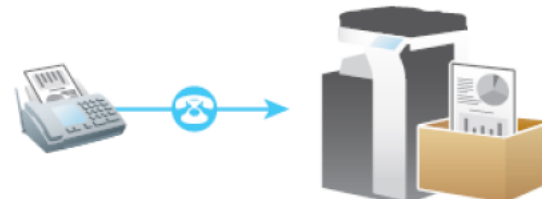
- 共有 / 個人 / グループボックスに保存されたファクスの印刷のしかたについては、「ユーザーズガイド [ボックス機能] / [文書を複合機にファイルで保存、利用する]」をごらんください。
- 強制メモリー受信ボックスに保存されたファクスの印刷のしかたについては、「ユーザーズガイド [ボックス機能] / [メモリーに受信したファクスを印刷する (強制メモリー受信)]」をごらんください。

メモリーに受信したファクスを印刷する ([強制メモリー受信])

[強制メモリー受信] について

強制メモリー受信機能によって受信したファクスを、印刷せずに保存するボックスです。ボックスを開くと、保存されているファクスを選択して、プレビュー表示、印刷、送信、名称変更、削除ができます。

受信したファクスが強制的にボックスに保存されるため、必要なファクスだけを印刷することで印刷コストを削減できます。また、重要なファクスの漏れや紛失を防止でき、セキュリティを強化できます。



参考

- お使いになるには、オプションの FAX キットを装着するか、インターネットファクス機能を有効にする必要があります。インターネットファクスを使う場合は、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- 強制メモリー受信ボックスには、500 文書まで保存できます。
- 強制メモリー受信ボックスに保存されているファクスを送信するには、オプションの拡張メモリー、I-Option8 (ファイル形式拡張パッケージ) が必要です。



関連設定

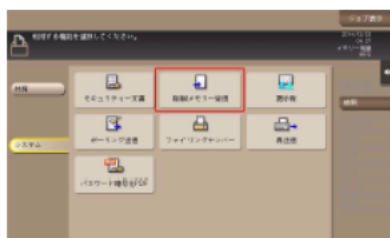
- 強制メモリー受信ボックスをよく使う場合は、トップ画面にショートカットキーを配置しておくが便利です。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

ボックス内のファクスを印刷する

- 1 [ボックス] をタップします。




- 2 [システム] - [強制メモリー受信] をタップします。



- 3 パスワードを入力し、[OK] をタップします。

- 4 印刷したいファクスを選び、[印刷実行] をタップします。

→ ファイルをロングタップしてメニューアイコンを表示し、にドラッグ&ドロップすることで同じ操作ができます。



- 5 印刷を実行する場合は、[はい] をタップします。



- ファクスを印刷すると、自動的に削除されます。